

## 東讚地区文化協会研修

大江長夫

十一月二十三日勤労感謝の日、石原会長と私を含む十二名が直島研修に参加した。今回の研修内容は、香川県環境センターと三菱マテリアル有価金属リサイクル施設、そして地中美術館の見学等の研修。

環境センターは二〇〇億円を超えるブルーの目立つた県の建物で、豊島の産廃を中間処理する施設。リサイクルセンターは色々な廃棄物から再処理して金等各種の金属を取り出す施設。

地中美術館には、あの有名なモネの睡蓮の絵が飾られている。大きさは日本で、遺族にお願いして譲り受けたもの。特に展示は地面の中にあるにもかかわらず、自然の明かりをふんだんに取り入れたもので、白い壁が更に部屋を明るくして、モネの生きていた時の希望を叶えたものだそうだ。またここには、全国から美大の若者がボランティアのスタッフとなって活躍していて驚いた。

素晴らしい絵を鑑賞した後、直島独自の女言葉が披露された。普段からの練習の賜であり、素晴らしかった。

直島の人は、元氣滲刺であり、お世話も率先してなさっていた

のがとても印象的であった。松田会長をはじめ文化協会会員の皆さんに、楽しい一時が過ごせたことを感謝したい。



▲環境センターでの視察

## 児童写生大会に思う

井藪徳治

「もう描き終わったん、暑かったやろ」「うん暑いわ喉がかわいた」。「上手に描けてるなー」「全部描けんかったけど、又家で描きます」「そしたら今日はおさんのやな、いい作品に仕上げてな」。

平成十六年度のさめき市内の小学校、幼稚園生を対象とした写生大会が、七月二十四日みろく自然公園で開催されました。

写生場所となったみろく自然公園は、みどりの木立、池をとり囲む遊歩道、事務所の庭に咲いたスイレンの花、丘陵に咲く草花、太陽とみどりがいっぱいの自然公園です。

大会当日は夏休みという事も

あつて四十名程の児童とお父さんお母さんが参加されました。

二時間ほどの写生時間でしたが、真夏の太陽が照りつけるなか、沢山の汗をかきながら親子が一体となって、作品づくりに取り組んでいる姿が見られ親子のふれあいの強さを感じ見る事が出来ました。

昨今子供の不幸な悲しい出来事やニュースの多い中、今日の写生大会の様に親子が一体となつてふれあいを高められた事は本当に有意義な大会だったと思います。

又写生大会は、絵を描く事だけでなく自然環境を学ぶ事も出来ます。そしていろんな体験をしながら、心豊かな人間に育つて欲しいと願っています。

十七年度の写生大会場所は、風光明媚な国立公園、津田の松原を予定しております。沢山の方が御参加されます様、お待ちしております。



▲写生している子どもたち

## 無形文化財「精霊踊」

精霊踊保存会 佐藤美恵子

先祖を供養する江戸時代からの踊りを残していきたいと今から約三十年前に保存会が結成され現在に至っております。その間さめき民踊まつりに参加し、又中條文化振興財団賞を受賞したりしました。

現在さめき市の無形文化財として、文化祭、運動会等で活動しています。特に運動会では、鶴羽幼稚園の協力もあって、園児とそのPTAの方も一緒に踊って下さり、これぞまさしく伝承だと感謝しています。私達保存会は踊りの原点である先祖の供養、大切に思う心を重んじて練習に励み毎夏欠かさず地域で踊り、しみじみと先祖を偲んでいます。そしてずっと踊りが、継承されることを祈っています。



## 囲碁同好会の紮立ち

私たちの同好会は、平成十五年初期に誕生しました。初年の頃は、文化協会について皆無の状態で、碁会の在り方も困惑しました。しかし、数名の者とあれこれ模索するうちに、高校生の囲碁研修の依頼があり、早速講師を招き、実現されました。

夏休みには、その高校に招かれ、夏期講習も実施しました。

数千年の歴史を生き抜き、現在へと引き続いた囲碁という文化を、常々私たちは、人生の後輩にも引き継ぎたいと思っていました。幸いにも、津田小学校のご理解により、クラブ活動に囲碁が導入され(平成十四年)同好会の有志数名が悪戦苦闘しながらも小学生の笑顔に支えられ、活動に頑張っています。



●囲碁講習会の風景

木村千秋